

高齢者の救急搬送に係る課題への取組状況について (市町地域包括ケアシステム担当課あて調査結果)

問 1 消防機関が地域包括ケアシステムや ACP に関する議論の場へ参画していますか。

- ① 参画している (**7市町**) ② 参画する予定である ③ 未定 (**19市町**)
④ その他 (**4市(議題によっては参加を依頼する予定、予定していた会議自体が中止、必要に応じて会議に出席を依頼していく)**)

(注)南伊勢町は、旧南島町区域と旧南勢町区域で消防本部の管轄が分かれているため、29市町の合計数と一致しない。

問 2 地域MC協議会に地域包括ケアシステム関係者が参画していますか。

- ① 参画している (**1市**) ② 参画する予定である ③ 未定 (**28市町**)
④ その他 ()

問 3 地域包括ケアシステム関係者が集まる会議で高齢者搬送に係る課題の協議・情報共有を行っていますか。

- ① 行っている (**8市町**) ② 行っていない (**18市町**) ③ 行う予定である (**2市**)
④ その他 (**1市(具体的な予定は決まっていないが今後行っていきたい)**)

問 4 地域包括ケアシステム関係者が集まる会議の年間の開催回数

- ① 1回 (**2町**) ② 2回 (**9市町**) ③ 3回 (**3市町**)
④ その他 (**14市町(4回、必要に応じて、12回など)**)

問 5 消防機関や地域包括ケアシステム関係者が参画する「多職種連携会議」を開催するにあたり地域で課題があればご記入ください。

- ・介護施設からの救急搬送時に、職員の同乗を求められることがある。施設からの救急要請で、傷病者の情報がスムーズに提供されない。
- ・身寄りのない方の救急搬送について、その方の情報が不明な場合や、搬送先の病院で対応について課題とを感じる。
- ・現在は医療と福祉の多職種連携会議を開催しており、消防機関にご参加いただくには会議内容を精査する必要がある。
- ・多職種間の円滑な連携を目指すにあたり、それぞれの関係者がお互いの業務内容を十分に把握できておらず、連携の支障となっている。業務が多忙で会議に出席することが負担になっている (特に医師や看護師、介護職)